

2014年度事業報告書

1. 仲裁・調停等業務及び事前相談への対応（2015年3月31日現在）

年度	AP:スポーツ仲裁規則			DP:ドーピング紛争に関するスポーツ仲裁規則			SP:特定仲裁合意に基づくスポーツ仲裁規則			MP:特定調停合意に基づくスポーツ調停(和解あつせん)規則				他の解決手段を利用する/した事案	その他の相談事案	問い合わせ	取扱事案総数
	仲裁申立受理事案数		仲裁不応諾事案数	仲裁申立受理事案数		仲裁不応諾事案数	仲裁申立受理事案数		仲裁不応諾事案数	調停申立受理事案数			調停不応諾事案数				
	仲裁判断数	仲裁申立取下事案数		仲裁判断数	仲裁申立取下事案数		仲裁判断数	仲裁申立取下事案数		和解成立事案数	調停不調事案数	調停取下事案数					
2003	3	3	0	2											2	5	12
2004	2	2	0	1				0	0	0	0				1	8	12
2005	2	1	1	0				0	0	0	0				4	9	15
2006	1	1	0	0				0	0	0	0	0	0	0	2	8	11
2007	0	0	0	2				0	0	0	0	1	0	1	3	6	20
2008	1	1	0	2	2	2	0	0	0	0	2	2	0	0	1	18	31
2009	2	2	0	0	0	0	0	0	0	0	2	1	0	1	1	19	33
2010	5	3	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	17	27
2011	3	3	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	18	42
2012	4	3	1	1	1	1	0	0	0	1	0	0	0	0	1	37	83
2013	24	8	16	3	1	1	0	0	0	1	0	0	0	0	2	39	114
2014	6	3	2	3	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	2	43	95
合計	53	30	22	14	4	4	0	0	0	2	6	3	1	1	7	227	495

(1) 2014年度(2015年3月31日現在)の仲裁・調停等業務について
 スポーツ仲裁申立件数:9件(仲裁判断3件、取下げ2件、不応諾3件、係属中1件)、
 ドーピング紛争に関するスポーツ仲裁申立件数:0件(仲裁判断数0件)、
 特定仲裁合意に基づくスポーツ仲裁申立件数:0件(不応諾0件)、
 特定調停合意に基づくスポーツ調停(和解あつせん)申立件数:3件(不応諾2件、係属中1件)

(2) 事前相談への対応について
 相談数:43件(仲裁・調停案件を除く) 他の紛争解決手段を利用する/した事案:0件
 問い合わせ件数40件
 取扱事案総数(仲裁・調停案件を含む):95件
 相談対応者:仲裁調停専門員 杉山翔一、仲裁調停専門委託員 前田卓朗

2. スポーツ仲裁シンポジウム

日時:2014年12月8日(月)10時30分~13時00分場所:大手町サンケイプラザホール
 テーマ:「スポーツ仲裁とグッド・ガバナンス」参加者数125名
 イントロダクション 山本 和彦 JSAA 執理事務

(日本のスポーツ紛争・仲裁等の現状についての説明)

第一部 基調講演 Juan de Dios Crespo Pérez 弁護士

(各国のスポーツ紛争の現状についての講演)

第二部 パネルディスカッション(順不同)

パネリスト Juan de Dios Crespo Pérez 弁護士

播磨 謙悟 公益財団法人日本サッカー協会

望月浩一郎 公益財団法人日本学生野球協会審査室審査員、弁護士

榎田 葉子 JSAA 事務総括主任

コーディネーター 上柳 敏郎 JSAA 執行理事、弁護士

3. 理解増進活動事業

理解増進事業専門職員 通年：小川和茂、半期：山田尚史（8月～11月）、高松政裕（7月～8月、11月～12月）、臨時：松本泰介、岡村英祐

(1) 競技者等に対する研修会

- ・JSAA 主催研修会【14回】（神奈川県法科大学院、特定非営利活動法人東京ゲートボール連合、札幌市少年軟式野球連盟、一般財団法人札幌市体育協会、千代田区体育協会、公益財団法人北海道体育協会、公益財団法人日本障がい者スポーツ協会、龍谷大学、関西大学、公益財団法人旭川市体育協会、大阪ラグビーフットボール協会、富山県ソフトボール協会、国立市体育協会、公益財団法人日本バスケットボール協会）

(2) 競技者等に対するアウトリーチ活動

- ・夏季国体（長崎県）開会式、体操、空手道、陸上（5日間）※1日間は台風により中止
- ・冬季国体（群馬県）スケート（フィギュア・ショートトラック）（1日間）

(3) 競技団体に対する説明会

- ・JSAA 主催説明会【1回】

日時：2014年12月8日（月）9:30～10:15 場所：大手町サンケイプラザ310会議室
参加者数：27団体33人 講師：山田尚史（JSAA 理解増進事業専門員、弁護士）

- ・JADA 主催説明会【2回】

日時：2014年12月12日（金）18:00～20:30 場所：ベルサール飯田橋駅前
日時：2014年12月19日（金）18:00～20:30 場所：新大阪丸ビル別館

- ・他団体主催説明会【2回】

公益財団法人北海道体育協会主催説明会

日時：2014年11月20日（木）13:00～17:00 場所：北海道総合体育センター

対象団体：公益財団法人北海道体育協会地方体育協会連絡協議会代表及び公益財団法人北海道体育協会加盟競技団体・学校体育団体代表

公益財団法人日本障がい者スポーツ協会主催説明会

日時：2015年3月9日（月） 場所：ホテル日航東京

対象団体：公益財団法人日本障がい者スポーツ協会傘下競技団体

(4) 仲裁人等に対する研究会

- ・スポーツ仲裁法研究会【3回（関東2回、関西1回）】・ドーピング仲裁研修会【1回】

第31回 2014年9月13日（土）16:00～17:45 参加者：37人

場所：筑波大学東京キャンパス文京校舎 テーマ：2013年度以降最新の仲裁判断

第32回 10月15日（水）18:30～20:30 参加者：42人

場所：大阪弁護士会館 テーマ：2013年度以降最新の仲裁判断

第33回 2015年2月7日（土）13:00～17:00 参加者：47人

場所：岸記念体育会館 テーマ：日本アンチ・ドーピング規程（2015年改正）の解説

4. 海外派遣研修事業

(1) Just Sport Ireland への派遣

派遣期間：2015年1月12日～2015年3月20日

派遣国：アイルランド（ダブリン）

派遣者：山田尚史、弁護士

(2) Oliverio Law Firm/Sports Law Department への派遣

派遣期間：2015年1月7日～2015年3月22日

派遣国：イタリア（ローマ）

派遣者：高松政裕、弁護士

5. 調査研究事業

(1) 中央競技団体のガバナンスの確立、強化に関する調査研究

メンバー：浦川 道太郎 委員長、間野 義之 分科会座長、山本 和彦 分科会座長

委員（20名）：今井 茂満 委員、梅林 啓 員、大塚 眞一郎 委員、鬼澤 佳弘 委員、木村 興治 委員、國井 隆 委員、黒田 裕 委員、境田 正樹 委員、坂元 要 委員、佐藤 征夫 委員、高橋 甫 委員、達脇 恵子 委員、中森 邦男 委員、播磨 謙悟 委員、藤原 庸介 委員、前田 彰一 委員、前田 独平 委員、松丸 喜一郎 委員、松村 直季 委員、松本 泰介 委員

分科会委員（7名）：大橋 卓生 分科会委員、岡村 英祐 分科会委員、小川 和茂 分科会委員、庄子 博人 分科会委員、千賀 福太郎 分科会委員、人見 亮三郎 分科会委員、堀田 裕二 分科会委員

調査研究内容：中央競技団体のガバナンスの確立、強化に関する調査研究

実施内容：協力者会議4回、第1分科会会議9回、第2分科会会議9回、競技団体ヒアリング実施14回

スポーツ団体のガバナンスに関する意見交換会の開催：

開催日時：2014年12月8日（月）14:00～17:00 場所：大手町サンケイプラザホール

出席団体：57団体 出席者数：79人

内 容：フェアプレーガイドライン等の説明とグループワーク

報告書：『最終報告書』、『NF組織運営におけるフェアプレーガイドライン ～NFのガバナンス強化に向けて～』及び『NF組織運営におけるフェアプレーガイドライン 不祥事対応事例集』

(2) ドーピング仲裁に関する調査研究事業

- ・ メンバー：早川吉尚委員長、浅川伸委員、小川和茂委員、奥村直樹委員、宍戸一樹委員、高田佳匡委員、水沼淳委員、山内貴博委員
- ・ 実施内容：委員会4回開催
- ・ 内容：2015年1月1日改正の日本アンチ・ドーピング規程を研究し、最終的に解説本を作成し、配布
- ・ 報告書：研究報告書「解説」

以上

2015年3月31日
公益財団法人日本スポーツ仲裁機構

2014年度事業報告 附属明細書

2014年度事業報告には、「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則」第34条第3項に規定する附属明細書「事業報告の内容を補足する重要な事項」が存在しないので作成しない。

2015年6月26日
公益財団法人日本スポーツ仲裁機構